

第5回 “銭湯であそぼう！” in 久米川湯”

— 振り返り写真集 —

作成：2011.03.04 更新：2011.03.07



昭和の銭湯。

老若男女、地域のたくさんの方々が、一日の疲れを癒しに、
ここへ集っていました。そこはまさに**社交の場**。

そして現代。

地域での**人とのつながり**が希薄となり、
銭湯も地域も なんだか元気がなくなっている……

『今こそ銭湯』

地域のおじいちゃん、おばあちゃん、子育て支援関係の団体、行政職員、
学生たち、地域のみなさん、そして会場となっている**くめがわ湯さん**
の協力を得て実現した、『**銭湯で遊ぼう!**』

今や、多くの人にとって**非日常**となったこの銭湯を舞台に、
そこにあった“**小さな地域**”に触れ、この街の彩りを少しでも伝えたい!

このイベントが、こどもたちやママ・パパの良い思い出のひとつになり、
地域全体が、**子育てを応援**しているんだということを
イベントで表現できたらと思っています。

銭湯で**楽しい**ひとときを過ごせることを、スタッフ一同願っています!

NPOソーシャライズ
代表理事 片山啓吾 & 銭湯スタッフ一同



図で解説 “第5回 銭湯で遊ぼう！” とは

主催：NPO法人ソーシャライズ
(主催)



協力：白梅学園の学生たち
& 地元の仲間たち
(企画運営協力・各遊び担当・出演・カフェ)



協力：ころころの森
(物品貸し出し協力)



協力：くめがわ湯
(会場提供)



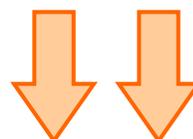
出店・協力：
越屋豆腐店

協賛：
みんなでごはん官兵衛
ネイルサロンC/S
相羽建設株式会社

出店・協力：
ローラルペーカーリー
(揚げミミ販売)

後援：
東村山市
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会

出演：地域にお住まいの皆さん
スマイリングオカリーナの皆さん、リトルオキナワさん



参加：地域の子どもたち、ママたち



東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！

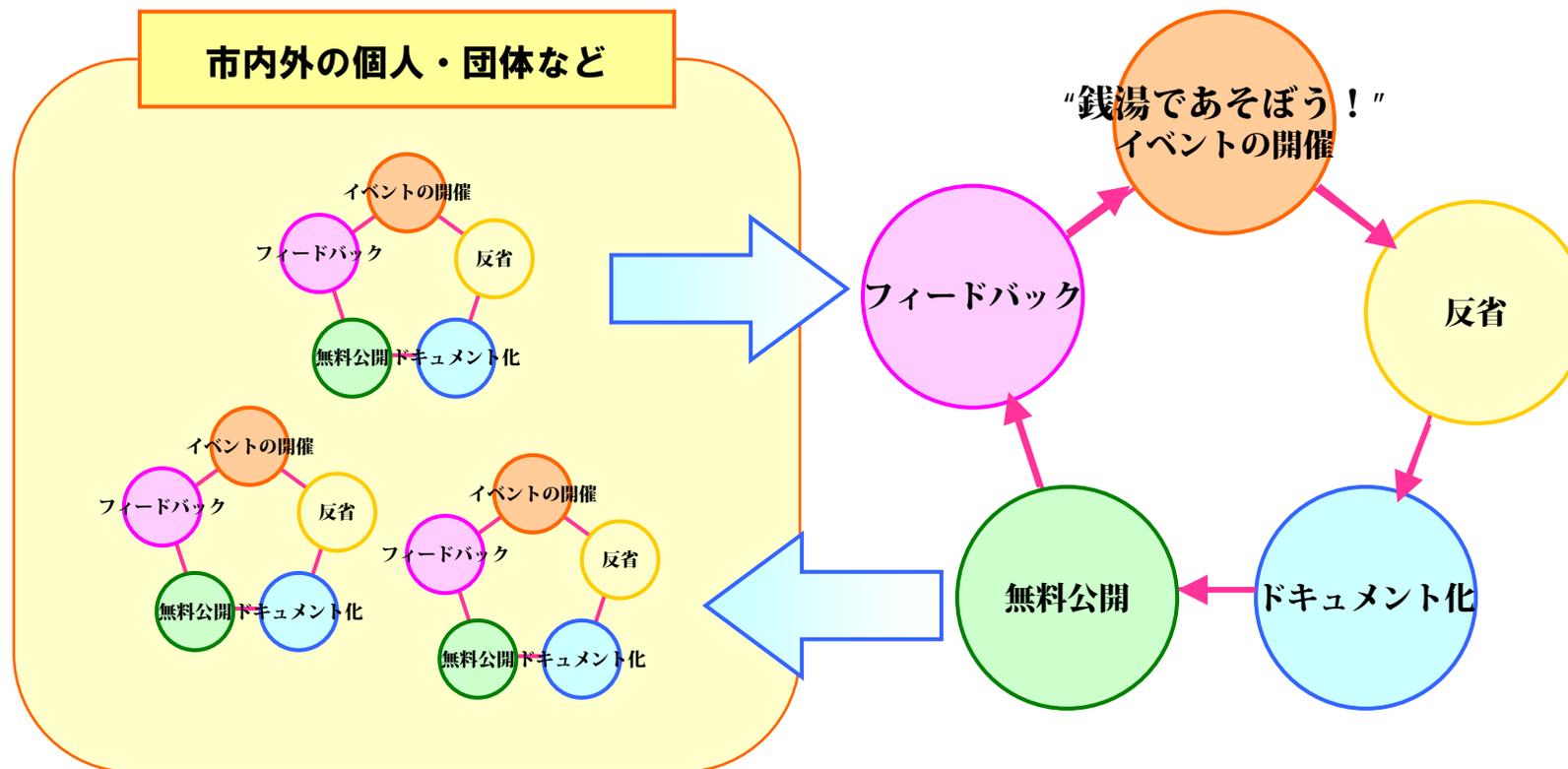
- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や
地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

イベントの開催は、一定のノウハウが必要で、未経験の人にとっては垣根がないとはいえません。本イベントでは、これで培ったノウハウなどをドキュメント化し、無償で市内外の個人・団体などへ向けて公開します。

少ないノウハウかもしれませんが、このドキュメントが微力なれど“新たな行動を起こす人”の力になればとっています。

ドキュメント公開の狙い

- ・この取り組みを、東村山の新しい息吹を、市内外の人たちに知ってもらいたい。
- ・市内外で、同様の取り組みを検討している人がいれば、この経験を活用して欲しい。
- ・活用してくれた他団体からのフィードバックをもらえれば、お互い経験を活かすことができる。



写真で振り返る

事前準備 ① ～前日・当日の会場設営&リハーサル～



第5回を迎える今回は、学生 & 地域の若者たち主導で企画、運営が行われた。イベント開催日の翌日がひなまつりのため、前日にお手製の顔出し看板や遊びに使う道具などを手分けして制作。当日は朝早くから集合。銭湯内のカーンやドアの整備を行うほか、装飾物の準備や掲示物などの配置、遊びの説明の練習をする。今回はスタッフによるカフェもオープンした。

開場～開演（学生による巨大絵本の朗読）



過去2回の春開催は3月後半で外も暖かかったが、今回は3月初め。気温があまり上がらないなかでの開催で、どのくらい来てくれるのか不安なところがあった。しかし開演11:00の絵本朗読までに、続々と母子が銭湯にやってきた。

今回の最初の演目は、学生による巨大絵本の朗読。前回の「はらぺこあおむし」に続き、「スイミー」も好評。子供たちもママも真剣な表情で聴いていた。

午前：オカリナ～琉球三味線



毎度おなじみの、オカリナ演奏と琉球三味線の演奏。
オカリナさんたちは、今回子供たちのためにパンダの被り物を用意してくれ、子供たちも喜んでいました。オカリナの美しい音色をゆっくり聴いたあとは、テンポのいい琉球三味線と歌で、ママも学生スタッフたちも大盛り上がり。後半では一緒に踊るママもたくさんいて、陽気な雰囲気が銭湯に広がった。



女湯フロアと女湯内でお昼ご飯を食べるママと子どもたち。
フロアでは学生たちによるカフェもオープン。
温かいおしろこ、麦茶、近所のお豆腐屋さんの湯豆腐、パン屋さんのあげみみをサービス。アンケートでも好評だった。
銭湯内では前回に続き、過去の銭湯イベント写真も展示。

午後：手作り紙芝居～ペタペタ遊び



学生の手作り紙芝居『せんとうへいこう!』では、銭湯に行ってから帰るまでの流れを物語りに。体や頭を洗うときのジェスチャーを加えて、みんなで楽しめるよう学生たちが工夫。ママと一緒に“ゴシゴシ”の動作をして楽しんでいた。
そのあとは、プリンなどのカップに絵の具をつけて紙皿にスタンプする『ペタペタ遊び』。ダンボールのパレットに各色を乗せて、手でスタンプする子ども。それぞれ違うデザインが出来上がった。



午後：手遊び ・ 集合写真記念撮影



学生による手遊びで楽しんでもらっている間に、女湯に浸かっていたマットやミニプールなどを他のスタッフが手早く片付ける。

手遊びのあとは、今回初めての試みとなる、来場者そろっての集合記念撮影。

午前の開演から残っている母子が多かった。

午後：寸劇（銭湯主人;金子さん登場）



「金子さ〜ん！」

とみんなで呼ぶと、
シーツに身を隠した2人の男性が。

「私が金子だ」「私も金子だ」

お風呂の色を変えられる方が本当の金子さん！さあ、ホンモノはどっち？！

今回は銭湯のご主人である金子さんを
フューチャーし、劇に参加していただいた。

ママたちはもちろん、スタッフも大笑い。
新しい試みは大成功に終わった。

午後： ～お風呂であそぼう～



今回は特におもちゃなどを用意しなかったが、手すりをくぐったり、桶にお湯を入れたり、ゆっくりお湯に浸かる子もいて、それぞれが“銭湯の大きなお風呂”を楽しんでいたよう。

これまで学生スタッフが湯船に浸かり、子供たちをサポートしていたが、今回はお母さん自ら入るなど、今までにない光景が見られた。

お手製顔出し看板（ひな祭り用）



翌日はひなまつり。
色とりどりの折り紙をちぎって貼り付けた手作りの顔出し看板は大人気！
スタッフたちも夢中で自分のカメラに子供たちの可愛らしい姿をおさめていた。





第5回目を迎え、スタッフもほとんどがお馴染みの顔、
そして新しいメンバーもまた加わった。

今回の反省会も、
「もっとこうしたらよかった」「次回はこうしていきたい」と、たくさん
の意見があがった。

次は第10回を目指して…！



ご協力、ありがとうございました！

■協賛

- ・みんなでごはん官兵衛 様
- ・ネイルデザインC/S 様
- ・相羽建設株式会社 様

■物品提供・告知協力

- ・東村山市 子育て総合支援センター “ころころの森”（物品貸し出し・イベント告知協力）
- ・東村山市 & 東村山市教育委員会
- ・東村山市社会福祉協議会
- ・ローラルペーカリー様（あげみみサービス）
- ・越國屋豆腐店様（お豆腐）

■出演協力

- ・スマイリング・オカリーナのみなさん（オカリナ演奏出演）
- ・リトルオキナワさん（沖縄三味線出演）

■運営・企画協力（出演含む：氏名は あいうえお順）

- ・くめがわ湯（運営協力・会場提供）
- ・白梅学園大学の学生たち&地元の仲間たち（企画&運営協力／絵本・紙芝居・手遊び／水遊び／カフェ）
磯部愛実さん、井出麻生さん、井上雄太さん、大江史朗さん、大久保美早さん、大森美歩さん、岡崎浩幸さん、
梶川ともよさん、木谷春香さん、窪島芽久美さん、児玉菜々子さん、菅原裕貴さん、高本希さん、辻本奈津子さん、
利光夢子さん、林由理さん、藤田拓也さん、古内信伍さん、松浦菜さん、本江剛さん、森本和真さん
- ・NPOソーシャライズの仲間たち（主催・運営・記録）

第5回銭湯で遊ぼう来場者数

大人	28	名
子ども	27	名
合計	55	名



特定非営利活動法人ソーシャライズ 法人概要



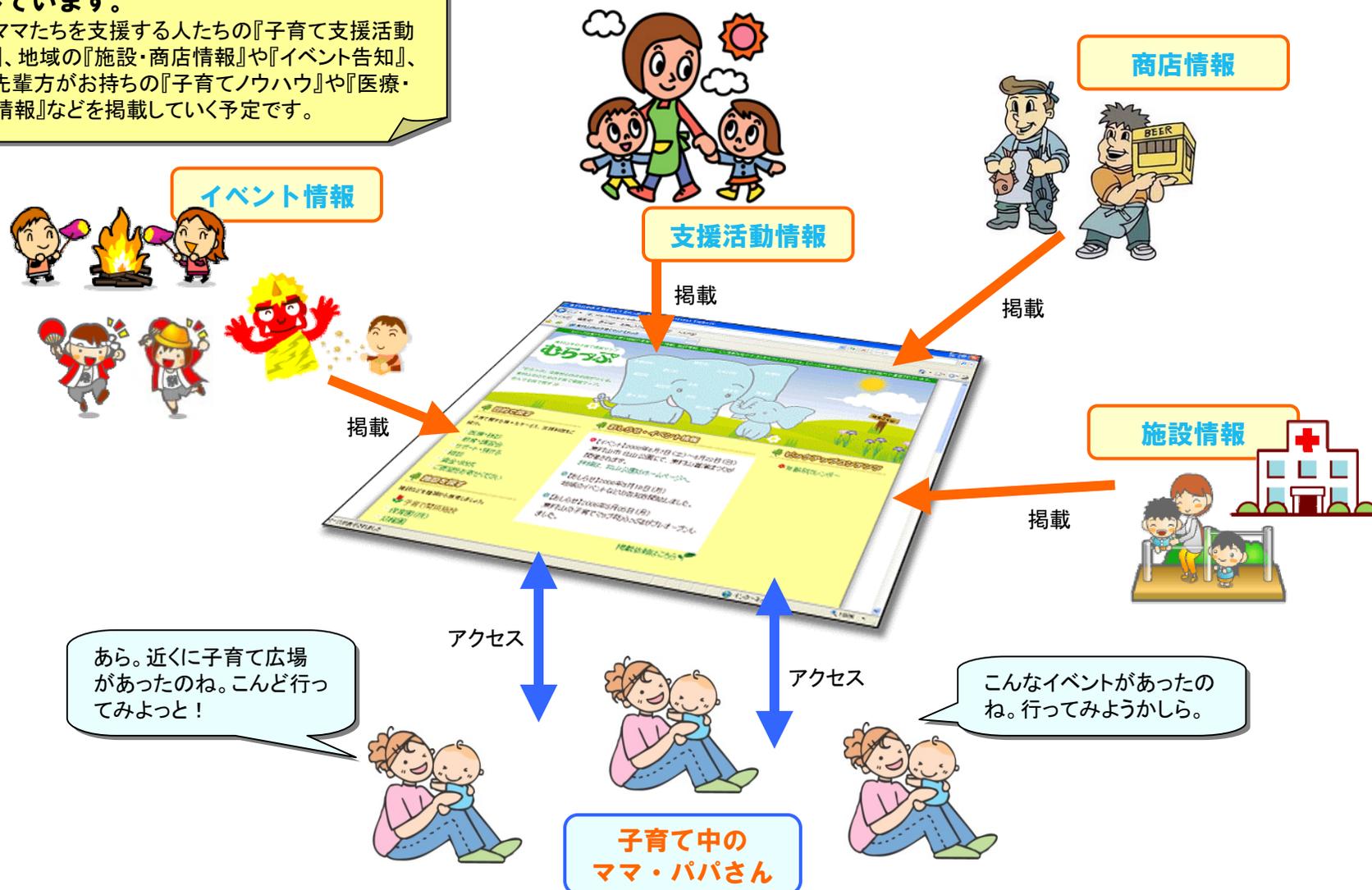
「こんなのがあればいいのに」「こうだったらいいのに」
 誰もが口にするこの言葉。
 だけど、何もしなければ何も変わらない。それはみんながわかっていること。
 ならば、今ここで改めてスタートしていこう。
 必要なものが今そこにはないならば、必要とする自分たちが創っていこう。
 何かが変わり、うまれるのを待つのではなく、自分たちが変え、うみ出していこう。
 そんな思いで創ったNPO法人です。

私たちソーシャライズは、
 私たちの“まち”をより住みよい“まち”にするための第一歩として、
 『子育て支援情報の提供』に取り組んでいます。

法人名	特定非営利活動法人ソーシャライズ
代表者	かたやま けいご
メンバー	理事 秋葉 秀央(NPO法人TINA 代表) 原 直之 監査 土田 慎太郎(法律事務所あすか 弁護士) 社員 8名
事務所	東京都東村山市久米川町3-21-1-206
連絡先	Keigo@sociarise.or.jp 090-4841-7423(片山携帯) 042-306-0606(TEL) 042-306-0607(FAX)
設立日	2008年12月24日(2008年4月活動開始)
主な活動内容	東村山市の子育て支援情報サイトむらっぶの運営・管理

現在の活動内容① ～子育てマップ“むらっぶ”とは～

むらっぶは、
地域の子育て支援情報プラットフォームを
 目指しています。
 子育てママたちを支援する人たちの『子育て支援活動の告知』、地域の『施設・商店情報』や『イベント告知』、子育て先輩方がお持ちの『子育てノウハウ』や『医療・健康の情報』などを掲載していく予定です。



★コミュニティ運営

【花さき保育園】

地域とのコラボレーションで実現。園が運営する青葉町の3つの子育てひろば

【HUG子どもパートナーズ】

暖かい雰囲気のがちちょう子育てひろば

【コミュニティスペースよるべ】

久米川辻そばの一軒家は親子が集まるほのぼのコミュニティ

【ころころの森】

旧保健所にできた、子どもとママ&パパの楽園！

★保育所・幼稚園運営

【東村山 5名の保育ママ】

家庭の雰囲気そのままに。子どもとのこの距離感が保育ママ♪

【NPO法人東村山子育て支援ネットワークすずめ】

木の香りがするおしゃれな保育園も 現役ママたちの活動からはじまった

★ミニコミ誌発行

【トコトコ・ワールド】

きっと手に取った方も多はず。情報ぎっしり”トコトコ通信”

★図書館

【くめがわ電車図書館】

地域のママ&パパがつくった、東村山で最も歴史ある、ちょっと変わった図書館？



2009年、2010年の春（3月）・夏（8月）に開催しました

昭和の銭湯。

その空間は、地域の人たちが顔を合わせ、声を交わし、老若男女が集う地域コミュニティの主役的存在。まさに小さな「地域」がそこにはあったのです。

そして今。

地域コミュニティの主役だった銭湯は、自宅風呂の普及と共に利用者減少し、当時の元気だった面影が薄れてきてます。

『今こそ銭湯』

銭湯は、天井が高く、お湯の音がこだまする非日常の空間。

銭湯を知らないなんてもったいない！

あなたも、ぜひ、このイベントに足を運んで、銭湯を体験してみませんか！※写真は第1回目の様子



現在の活動内容② ～ まちの銭湯で子育てイベント（下記は第3回目、夏開催での様子）～

主催：NPO法人ソーシャライズ
（運営・屋台出店）



協力：NPOここと
（運営協力・カフェ・出演）



協力：チーム白梅学園
（運営協力・水遊び担当・出演）



協力：富士見町の前田さん
（運営協力・出演）



協力：ころころの森
（物品貸し出し協力）



協力：くめがわ湯
（会場提供）



出店・協賛：
ポールスタア株式会社
（東村山名物 黒焼きそば）



提供・協賛：
豊島屋酒造株式会社
（水・酒樽）



出店・協賛：
相羽建設株式会社
（天然素材 木工教室）



出店・協賛：
多摩きた生活クラブ生協
まち・東村山
（石けん教室）



出店・協力：
ご近所の越屋豆腐店さん
（冷や奴）



出演：地域にお住まいの皆さん



後援：
東村山市（子ども家庭部子育てエリア担当）
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会
（物品貸し出し協力）



参加：地域の子どもたち、ママたち



- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！



片山啓吾
1977年12月生まれ
東京都東村山市 出身。

1998年 東京工科専門学校 情報処理科卒
トランスコスモス株式会社 入社
UNIXに関するシステム・ネットワーク設計に携わる。

2000年 個人事業デジタル・アドバイザー 設立
同社代表に就任。
ウェブサイト制作受託業務を開始するも2ヶ月で解散。

2001年 有限会社デジタル・アドバイザー 設立
同社 代表取締役就任。
ウェブサイト制作の制作業務を開始。
自社サービス、メール配信システムを販売開始。
国内初のインターネットを活用した計画外流通米の
流通事業をNPOとして立ち上げる。

2003年 株式会社シリウステクノロジーズ 設立
同社 取締役ビジネスクリエイターに就任。
事業戦略、アライアンス戦略、システム設計等を担当。
主に、
・国内初のSNSサービスの立ち上げに参画
・世界初のモバイルGPS連動型SNSの立ち上げ
・世界初のGPSを活用した広告配信サービスの立ち上げ
などに携わる。
現在もGPSを活用した広告配信サービスでは
モバイルサイト大手のモバゲータウンなどで採用されている。

2008年 NPO法人ソーシャライズ、株式会社ユナイトリックスを設立。
まちの発展につながるウェブコンサルティング事業、
人に喜ばれるソリューション開発を行う。
他、NPO TINA理事、株式会社アトランティス顧問を兼任。



←東村山の子育て情報マップ むらっぶ
地図やカテゴリから地域情報を検索できる。

↓九十九里スーベニアネット

経済産業省認定の助成事業。
九十九里浜の観光情報やお土産情報を掲載。
九十九里の魅力を市内外に発信。



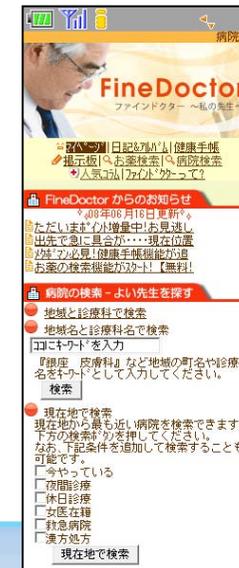
↓おこめナビ

全国440の稲作農家をネットワーク。
生産者の顔と思いが伝わるお米販売。
同社NPOでは稲作農家への就農支援
なども行う。
ちなみに、片山は同NPOの理事。

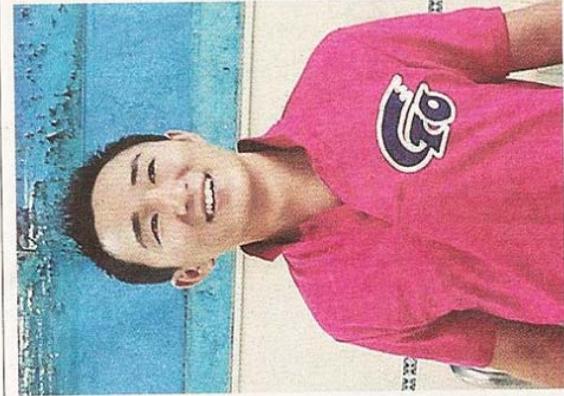


↓ファインドクター

診療科や症状、GPSなどで病院を検索。
掲示板やポイントシステムなど。



(計3種郵便物認可)



メモ 東村山市野口町出身で、同市久米川町在住。I専門学校で情報処理を学び、IT (情報技術) 関係の会社勤めを経て、現在は自宅でホームページの製作などを請け負っている。「むらっぶ」のアドレレスは、<http://murap.jp/>

「折り紙で、こんなごまく花の形が作れるんですね。お年寄りが幼児に折り方を教えているのを見て、近くにいた母親が感心していた。腹話術の人形劇では会場内に笑い声が響き、沖縄三味線の演奏が始まると大人も幼児も一緒に踊り出す。

普段からよく通っている東村山市本町の「くめがわ湯」で今年3月に開いた「銭湯で遊ぼう!」のひとつだ。市内の0〜3歳児と保護者ら約

イベントを主催する
片山 啓吾さん 31

銭湯で地域交流

70人が参加し、運営には地域住民らが携わった。

主催したのは、自身が昨年12月に設立したNPO法人「ソーシャルイズ」。初めてのイベント開催だったが、「みんなが銭湯という場を共有しつなかりを深められた」と手応えをつかんだ。

銭湯をイベントの舞台に選

んだのは、利用客の減少に苦しむ地域コミュニティを守りたいという思いがあるからだ。幼い頃に通った市内の銭湯では、見知らぬ大人がよく声を掛けてくれた。「何歳だ」「水を入れます」と、ほかの人が入る時にぬるくなるよ。人と触れ合うなかで社会のルールを学ぶ場所でもあった。

昨年10月、妻の綾乃さん(32)と、埼玉県所沢市から東村山市内に戻ってきた。「自然豊かな東村山で子育てがしたい」というのがその理由。ちょうどその頃、市内の子育て支援団体などを紹介するホームページ「むらっぶ」を開

設した。団体取材した際の写真やコメントを掲載し、どんな人たちが活動しているかを知ってもらうことで、気軽に利用しやすくなる「顔の見える紹介」を心掛けた。

「ないものは、自分たちで作ればいい。座して待つことはない」が信条。子育てへの関心を通じ、街の行政や防犯、



自然環境など、まちづくりへの意識が広がることを願う。

今月26日には、「くめがわ湯」で第2弾のイベント

を計画している。今回は対象年齢を広げ、地元企業の協力も決まった。

今年5月に長男が誕生し、「お子さんは元気ですか」といった地域での何気ない一言が心の支えになっている。

(岡本裕輔)